

関高 大100年祭

地域とともに祝う



開校からの卒業生数は26000人以上。たくさんの卒業生が国内外で幅広く活躍しています

グローバルな視野 地域に貢献できる人材を

「進取の気概、至誠の心、日々錬磨」を校訓とし、知・徳・体の調和が取れた教育を実践している関市桜ヶ丘の岐阜県立関高等学校。創立は今から100年前の大正10（1921）年。関町立関実科高等学校として開校したのが始まりです。そして翌年には武義高等学校と改称。昭和23（1948）年の学制改革により、現在の校名に改称された後、昭和27年に現在地へと移転しました。

平成26年度には岐阜県教育委員会から「スーパーグローバル



「開校100年を達成できたのも、長年にわたって地域の人たちに支えられてきたおかげ」

は100周年を記念して新たに編曲された関高校歌と応援歌、旧制武義高等学校校歌の3曲を、卒業生と在校生の合同演奏で初披露予定。世代を越えた交流と絆を深めます。

さらに今年春には、校内の図書館（桜ヶ丘会館）を改修し、ICT（情報通信技術）機器を備えた多目的室や学習室を整備。ほかにも100周年記念の公式ウェブサイトを開設するなど、幅広い事業を展開しています。

**地域とのコラボで
まち全体を盛り上げたい**

記念事業の大きな特徴は、地域との積極的なコラボレーション。記念式典の前後である9月から11月にかけての期間を「関高大100年祭」と銘打ち、まち全体でお祝いムードを盛り上げていきます。

「開校100年を達成できたのも、長年にわたって地域の人たちに支えられてきたおかげ。まちが一体となった賑わいをつくっていくことに大きな意味があると思っています」と、100周年記念事業実行委員会の実行委員長である鈴木良春さん。OBや商店街の店舗が講演会を開いたり、記念商品を販売するなど、地域全体でおよそ50種類のイベントが開催されます。

「地域やOBの皆さんには、コロナで大変な中にも関わらず100周年を盛り上げようとが

大正10年の創立から
今年度で100周年を迎えた
岐阜県立関高等学校。

これまでの歴史や教育方針の特徴などと合わせて、記念事業の幅広い内容について聞きました。

貢献できる人材の育成に力を入れています。

**式典やコンサートなど
幅広い記念事業を展開**

開校100周年の記念事業に取り組んでいるのは、同校の生徒会やOB、PTA、地域の商工会など。「岐阜県立関高等学校創立100周年記念事業実行委員会」を立ち上げ、さまざまな準備を進めています。

「関の刃物と特産品見本市」では、参加した生徒たちが英語でPRを行うなど、この取り組みは地域との結びつきを大切にしている点特徴です」と話すのは、校長の林雅浩さん。生徒の現代的な感性をまちの活性化に生かすことで、「Win・Winの関係性を構築できている」とほほ笑みます。

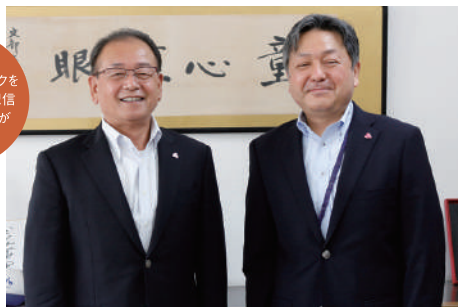
そして昨年度からは、県教育委員会の指定を受けた「地域共創フラッグシップハイスクール（FRH）」の取り組みがスタート。6年間のSGH活動をさらに発展させて、グローバルな視野を生かしながら地域の未来に

9月23日には、関市文化会館で「関高大100年祭記念コンサート」を開催予定。同校吹奏楽部のOBやOGを中心に結成された関市の市民楽団「さくらウィンドオーケストラ」と現役の吹奏楽部が、100周年を祝う曲などを演奏します。さらに9月29日から10月3日にかけては、同じく関市文化会館で、今年で15回目となる「関高OB展」を開催。そして10月2日、これまでの卒業生と在校生が一同に集まり、「関高校100周年記念式典」を行います。当日

んばつていただいています」と林校長。「感謝の気持ちを表すためにも、今後も地域とともに歩んでいく学校であり続けたい」と話してくれました。

すでにさまざまな記念事業が行われている関高校の100周年記念事業。ぜひ地域のみならず賑やかに祝いしていきたいように。

※各行事やイベントはコロナ感染の状況によって中止もしくは縮小される可能性があります



岐阜県立関高等学校の校長を務める林雅浩さん（右）
100周年記念事業実行委員会の実行委員長、鈴木良春さん（左）

INFORMATION

関高校100周年式典オンライン配信のお知らせ
【日時】10月2日（土）14時～16時

配信① 関高校100周年 公式YouTubeチャンネル
<https://www.youtube.com/channel/UCm-EvVSAIPLscC2HXvhd7r0/featured>

配信② チャンネルCCN 地デジ12ch
※10月の毎週木曜16時～18時と
毎週日曜21時～23時に再放送もしています

「関高 大100年祭」の詳細は以下のサイトをご確認ください

100周年記念の公式ウェブサイト <https://seki100.com/>



チャンネル登録&ベルマークをオンで、ライブ配信開始時に通知が届きます！

次の100年に向け、 地域との交流をさらに深めたい

大正9年に創立した岐阜県立武義高等学校。

昨年に開校100周年を迎えましたが、コロナ感染の影響で記念事業が今年に延期されました。

10月に開催される式典など100周年事業の内容と合わせ、

開校からの歴史や地域貢献の取り組みなどをご紹介します。



今年101周年の武義高等学校。文武両道を目指しているため、勉強だけでなく部活動も非常に盛んです

幕末から学問の盛んな地に 創立した歴史ある学校

岐阜県立武義高等学校の前身は、大正9（1920）年に創立した岐阜県立武義中学校。幕末の漢学者である村瀬藤城が塾を開いて子弟の教育を行った梅山の地に、県で5番目の旧制中学として誕生した学校であり、長い伝統と歴史を誇ります。

戦後の昭和23（1948）年には、学制改革によって現在の校名に改称。翌年の学区制施行に伴い、普通科と商業科を設置した総合高等学校になりました。そして昭和54年に、現在の校訓である「うまず、おくせず、たくましく」を制定。生徒一人ひとりの文武両道を目指した教育を行っています。

現在までの卒業生数は約2万2千人。OBの多くが地元のみならず、さまざまな分野で活躍しており、30年ほど前はそうした地域の中心メンバーのおよそ半数が同校のOBで占められていた時期も深いことも特徴。毎年一度、重要伝統的建造物群保存地区である「うだつの町並み」で清掃活動を行ったり、地域の大切なイベントである「美濃和紙あかりアート展」で生徒が会場案内を担当したり、「美濃市産業祭」で吹奏楽部が演奏するなど、地域活性化に向けたボランティア活動にも力を入れています。今年の春からは、美濃和紙を使ったマスクケースとエコバックも制作。販売収益を赤い羽根共同募金に寄付しました。

100周年を記念して さまざまな事業を実施

創立100周年の記念事業に向けた取り組みが始まったのは平成30（2018）年頃。同窓会やPTA、学校職員などで実行委員会を組織して、式典などの準備を進めてきました。しかし100周年を迎えた昨年は、世界規模でコロナウイルスが蔓延。4月の段階で、10月に予定していた式典の一年延期を決定しました。

あらためて設定された式典の開催日は今年の10月16日。当日は同校OBの音楽家、大家昌治さんが学校や地域をイメージしてつくった曲を吹奏楽部が演奏します。

また、記念事業の一環として校門の全面改修を行い、今年8月にこれからの新しい100周年をイメージしたデザインにリニ

長年にわたり、地域の発展に大きく寄与し続けています。

市内唯一の高校として 地域の活性化に尽力

現在の生徒数は3学年合わせて550人。今年度より、商業科と情報処理科を再編してビジネス情報科が新設されました。「1年生で商業に関する幅広い学びを深め、2年生よりマーケティングコースと会計コース、情報コースの3コースに分かれます」と話すのは、校長の瀧下博幸さん。入学段階で学習分野を絞り込むのではなく、生徒一人ひとりが自分の適性や進路希望を見極めた上で学びの選択をできるようにしたこと

が特徴です。一方の普通科では、今年度より選択できる単位の種類をさらに充実。世の中のニーズの多様化に対応していこうとしています。

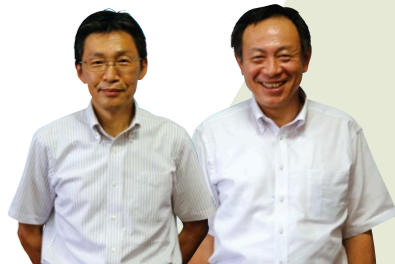
また、同校は美濃市で唯一の高校であり、地域との結びつきが特徴です。ユースアルされました。さらに同窓会館の空調設備の改修や、100周年を記念して地元酒造会社とコラボした日本酒の販売なども、同窓会の会頭として実行委員会の委員長を務めている土本恭正さんは、「幅広い取り組みを行うことで、伝統ある出身校の100周年を祝いたい」と意気込みます。

「次の100年に向けた当面の目標は、ふるさと教育をさらに強化するなど、地域の皆さんが学校教育にもっと関わっていただける仕組みをつくること」と瀧下校長。「学校だけでなくまち全体をキャンパスにして、地域で生徒たちを育てていく学校にしていきたい」と話してくれました。

創立から、時代のニーズに合わせてさまざまな変遷を重ねてきた武義高校。これからは社会の変化に対応した人材の育成を通じて、地域に貢献し続けていくでしょう。



これからの100年をイメージした新しい校門。デザインは生徒の意見を反映しました



岐阜県立武義高等学校 瀧下博幸校長
100周年記念事業実行委員長 土本恭正さん